

## 融合的アプローチによる 人文・社会科学の刷新に向けて

日時： 2014年1月21日(火) 14:30-18:00

場所：学際科学フロンティア研究所 1階大セミナー室

文学、経済学、社会学、心理学、政治学など、人文・社会科学は多彩な学術領域によって構成されています。我々が生活する社会についての見識を深めるには、こられが蓄積してきた知見等を生かしていくことが必要不可欠ですが、他方でそのような学際的な研究が活発に行われているとはいえない状況にあります。さらに社会現象に対する新たな視点を獲得するためには、数理科学や統計学などいわゆる「理科系」的なアプローチも必要となります。そこで専門を異とする人の研究報告や討論を通じた相互交流を行うことで、既存のあり方に捉われない、新しい融合的な人文・社会科学について検討したいと思えます。

### <プログラム>

プレゼンテーション (14:30-16:40) 発表者: 修士・博士研究教育院生

1. 吉良 洋輔 (文学研究科・D3)  
「ゲーム理論を用いた社会規範の分析  
—多目的マルコフ決定問題の応用—」
2. 関藤 麻衣 (環境科学研究科・M2)  
「太陽光発電導入後の電力購入量変化の分析」
3. 横山 諒一 (医学系研究科・D3)  
「パートナー選択のマッチング問題に関する意思決定の神経基盤」

休憩(15:30- 15:40)

4. 神林 寿幸 (教育学研究科・M2)  
「現代日本における教員の勤務負担の形成過程  
—労働時間と関連法制度の変遷に着目して—」
5. 大林 真也 (文学研究科・D2)  
「社会運動と利他行動」
6. 濱本 真一 (教育学研究科・D1)  
「早期選抜と教育機会不平等のダイナミクス  
—質的格差へのシミュレーションアプローチ」

休憩 (16:40-16:50)

フリーディスカッション (16:50-17:50)

総括 (17:50-18:00)

司会：善教将大

ファシリテーター：瀧川裕貴・中村文子